

居場所づくりが成長のきっかけに！

# 子どもスペースを



入園や入学をきっかけに、勉強道具などの「子どもが管理する物」はどんどん増えていきます。忘れ物や遅刻を減らすためにも、片付けはぜひ身につけたいもの。大人が環境を整えることは、勉強の習慣づけや整理・整頓への第一歩になります。家の広さや生活スタイルに合わせて無理のない「子どもの居場所」づくりを行い、子どもの自立心を育みましょう。

取材協力／香川大学教育学部教授  
妹尾 理子氏

## 自分の場所持ち

### 片付けを覚える

**子**どもに「これは私が本を読む場所」「ここは私が本を読む場所」を作るとは、自立への一歩になります。天然木など素材にこだわったおもちゃ選びなども心がけて「自分の物・自分の場所」を管理する中で物を大切にすることも育てていきたいと思います。最初のうちは細かい分類はせず、おもちゃは決まった場所に

まうもの、といった習慣を身につけることから始めます。成長するにつれ細かい分類もできるようになりますから、収納の仕方にもそれに合わせて細分化させていきましょう。

## リビングの

### かたすみでのOK

小さな子どもを子ども部屋にひとりにするのは現実的ではありません。まずはリビングなどにスペースを用意しましょう。しかし寝

る場所などのプライベート空間はいずれは必要なもの。リビングを活動の中心にしつつ早いうちに部屋だけ用意しておくのもひとつの方法です。思春期・反抗期には部屋にこもりたがるものですが、居心地がよすぎる個室は引きこもりを助長することも。中の気配が分かるように、すりガラスがはめこまれたドアや窓をつけたり、入り口を鍵がかからない引き戸や障子にするなどの配慮をしておくとよいでしょう。

## ついたて

大人が楽に見下ろせる高さのついたてを用意すると、大人はさりげなく見守ることができ、子どもは大人を気にせず自分の世界で遊べます。幼稚園や保育園のトイレの壁も、このような高さが意識されています。



## 秘密基地

大きな段ボール箱で、子どもが大好きな「家」を作りましょう。市販の商品を買う必要はありません。親子で「カーテンを付けよう」「窓を開けよう」と話しながら自作することがいい経験になります。



## 幼稚園 保育園

家族とコミュニケーションが取れるオープン空間と、自分の世界で楽しめる秘密基地スペース、片付けなどのしつけを学ばせる道具空間の3点を意識します。ある程度の年齢になるまで個室は必要ありません。

## カゴ、箱

細かい分類はせず、おもちゃなどをまとめられる、入れやすく出しやすい箱を用意しましょう。色分けや対応するおもちゃの絵を描く、名前を書いたシールを貼るなど、子どもが理解しやすい工夫をします。



# 小学生

個室があってもリビングなどで宿題・勉強をする子どもが多いようです。部屋は子どもの自立心を育てることを第一に、思春期以降を考えて計画を。

## 片付けの 定位置を決める

リビングで勉強する場合は食事時などに片付けることになるため、近くにワゴンや棚などの片付け場所が必要です。家具の買い足しは部屋を手狭にするため、まずは今ある家具を使いましょう。小学校では5、6年の家庭科で掃除や整理整頓について学びますが、それまでに自分のものは片付けられるようになっておきたいですね。



## 準備は 1つの場所で

ランドセル、帽子などをそろえ「出かける準備はここで済ませる」という場所を作ると段取りが良くなり、忘れ物も防げます。勉強する場所の近くに専用コーナーを設けましょう。



## 間仕切りする

板や布、間仕切り家具を使えば、リフォームせずにきょうだいで空間を分け合ったり、オープンスペースの一角に空間ができます。子どもの独立後を考えると、大きな1部屋を作って窓や棚、照明、スイッチを複数用意するなど変化に対応しやすい部屋にしておくのも有効です。家具で仕切る場合は転倒防止や地震対策を忘れずに！

## 勉強机の選択は成長後も考えて

「小学生になったから学習机」と決めつける必要はありません。ものを大切にさせたいなら、大人になっても使えるデザインや、年月で味わいが増す木の机を選ぶのがおすすめです。子どもは大人の

することに興味を持ち影響を受けますから、子ども部屋づくりも勉強机選びも「自分の家はどんな家なのか」「子どもにどうなってほしいのか」をポイントに判断しましょう。

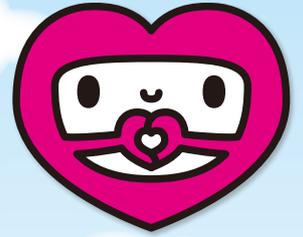
### 勉強机を使わない例

- 家族全員の本と大きな机を置き、全員が勉強できる「図書スペース」をつくる。リビングに家族共用のワークスペースをつくり、個室を小さく済ませられるメリットも。
- 家具に板をわたして長い机を作り、きょうだいで並んで勉強できるようにする。勉強机を人数分置けない場合などに便利です。

毎月19日は  
「かがわ育児の日」

子育て家庭に  
お得なサービス

# みんな トクだね応援団



子育て家庭を応援する「みんなトクだね応援団」。携帯やスマートフォンからサイトにアクセスし、サービス内容画面を提示すると、約300店で各種サービスが利用できます。毎月19日の「かがわ育児の日」だけの特典や、サイトの地図機能も充実!

## カガワ写真館

育児の日 写真代(撮影料+プリント料)  
10%オフ



マタニティ、お宮参り、おたんじょうび、七五三、入園・入学などの節目の証しを写真で残しませんか。またその時には、ご両親とごいっしょの家族写真もおすすです。

住 高松市古馬場町8-33  
営 9:00~18:00  
休 水曜

☎087(821)3590

## サニーハウス

育児の日 ドリンク50円引き

いつでも 「お子さまSunnyランチ」が  
デザート付きに



観音寺市と三豊市の境にあるカフェ「サニーハウス」は、2012年からはNPOフレンズの活動拠点にもなっています。さまざまなイベントで西讃地区の子育て環境を楽しくサポートします!

住 三豊市豊中町岡本2114-14  
営 9:00~17:00  
休 月・火曜

☎0875(24)8690

## イオン坂出店

育児の日 毎月11日は子ども・ベビー服、  
紙おむつなどが5%OFF

いつでも すくすくクラブ会員は毎月  
第2・4土曜日の「すくすくデー」に  
指定商品が5%OFF



赤ちゃん休憩室などを設置し、子ども連れでも安心して買い物ができる環境づくりを行っています。会員限定の特典が受けられる「すくすくクラブ」は入会金、年会費無料!

住 坂出市京町1-4-18  
営 9:00~21:00(1階は22:00まで)  
休 なし

☎0877(45)2111

### アクセス方法

URLを直接入力する▶<http://www.19toku.jp>

検索サイトで▶ [みんなトクだね応援団](#)



QRコードから(携帯のみ)

【注意】  
旧サイト(みんな子育て応援団)の会員登録表示とは異なります。また加盟店およびサービス内容も異なりますので、みんなトクだね応援団サイトでご確認ください。  
【利用対象者】  
18歳未満のお子様と家計を共にしている家族に限りです。(18歳に達した後、最初に迎える3月31日まで有効)

- 1 携帯・スマートフォンから  
みんなトクだね  
応援団  
サイトにアクセス!
- 2 利用したいお店を  
読み込む
- 3 サービス内容を  
画面に表示
- 4 店頭で提示!!

利用方法は簡単



三豊市立河内幼稚園  
白川嘩乃音さん

小さな手  
未来を支える 希望の手

白川嘩乃音(しらかわかの)さん  
三豊市立河内幼稚園園児

厚生労働省は毎年5月5日のこの日の日から1週間を児童福祉週間と定め、児童福祉の理念を普及・啓発するため、さまざまな事業や行事を行っています。事業の一環として、毎年児童福祉週間の標語を募集しています。2014年度の標語は全国から5647の応募がありました。香川県からの応募作1作品が入選作品として選ばれました。

児童福祉週間の標語募集で  
香川県からも  
幼稚園児の  
作品が入選!

そのいっぽ  
みらいにつづく ゆめのみち  
中西愛美さん 千葉県

2014年度児童福祉週間標語 最優秀

育児相談から親子の交流まで

■地域子育て支援センター

保育所等に併設し、入所園児に限らず地域の乳幼児子育て家庭等が相談可能。

■つどいの広場

乳幼児を中心とした親子が集い、交流や情報交換を行っている拠点。

■専門の相談窓口

■保健所・保健センター

乳幼児の発育や発達、言葉などの相談事業や親子教室など。

■児童家庭支援センター 児童家庭支援センターけいあい ☎0879-25-6067

児童養護施設に併設。地域の関係機関と一緒に、子どもと家庭についての相談。

■児童相談所

子どもや家庭に関するさまざまな相談(子育ての心配や不安、言葉や発達の遅れが心配など)。  
県子ども女性相談センター ☎087-862-8861  
県西部子ども相談センター ☎0877-24-3173

■子育てホットライン 県教育委員会 ☎087-861-4951

家庭教育の悩みや不安に関する電話相談。

■子どもホットライン 県教育委員会 ☎087-835-7867

いじめなど、子どもからの電話相談に、相談員が応じています。

■問い合わせ／県健康福祉部子育て支援課 ☎087-832-3282

子育て情報をチェック!

香川県健康福祉部子育て支援課のホームページでは、子育て相談窓口や児童館の情報など子育てに役立つ情報を提供しています。「みんなトクだね応援団」や「かがわこどもの駅」の加盟店舗の検索も可能。子育てで困ったときに見てみてください。

子育て支援課ホームページ <http://www.pref.kagawa.lg.jp/kosodate/shoshi/>



お出かけの時は

「かがわこどもの駅」をチェック!

「かがわこどもの駅」は、左記の四つの設備のうち、二つ以上の設備が整っており、利用者に無償で提供できる民間・公共施設。HPでは市町ごとに検索できるのはもちろん、子どもトイレのある施設など、設備からも検索できます。

■アクセス方法

■URLを直接入力する  
<http://www.kosodate-eki.jp/>

■QRコードから



病児・病後児保育

保育所では、子どもが病中(発熱など)や病後(回復期)の場合は預かってくれません。そんな時は一人で無理せず、保護者に代わって子どもを預かってくれる「病児・病後児保育」を利用しましょう。県内では小児科医院や保育所に併設する施設が16カ所あり、看護師や保育士が保育に当たります。利用料金の目安は1日当たり2000円前後。詳しくは下記の実施機関にお問い合わせください。

【病児・病後児保育実施機関】

(2014年3月1日現在)

施設名	電話番号
香川医療生活協同組合へいわこどもクリニック病児保育はとぼっぼ(高松市栗林町)	087-835-2065
トビウメ小児科医院付属病児保育室「子どもの家」(高松市伏石町)	087-865-3111
西岡医院病児保育室「レインボーキッズ」(高松市寺井町)	087-885-2863
小林内科小児科医院付属病児保育室「すこやかルーム」(高松市屋島西町)	087-844-8156
はらこども園病後児保育室(高松市牟礼町)	087-845-0234
おかだ小児クリニック病児保育「おひさま」(丸亀市柞原町)	0877-58-0707
総合病院回生病院(坂出市室町)	0877-46-1011
カナン子育てプラザ21「らっこ」(善通寺市生野本町)	0877-62-3695
にしかわクリニック病児保育室「げんきになあれ」(善通寺市木徳町)	0877-63-6500
三豊総合病院企業団病児・病後児保育室「わたっこ保育園」(観音寺市豊浜町)	0875-52-6620
さぬき市民病院病児・病後児保育室「コスモス」(さぬき市寒川町)	0879-43-2521
小児科内科三好医院(後)児保育室「チャイルド・ケアシステム・エム」(東かがわ市)	0879-25-3503
土庄町病児・病後児保育室「げんきっこ」(土庄町土庄中央病院内)	0879-62-1211
内海病院・病児・病後児保育室「オリブキッズ」(小豆島町内海病院内)	0879-82-2121
病児・病後児保育「まつばら」(三木町松原病院内)	087-898-0620
綾川町病児保育室「うぐいす」(綾川町国民健康保険総合保健施設えがお内)	087-876-1185

夜間・救急診療について

病状が急変することの多い子どものために、休日の指定医療機関や夜間救急医療機関などをあらかじめ確認しておきましょう。受診の際には事前に電話連絡が必要です。

●● 休日や夜間に急な病気で困った場合の電話相談 ●●

休日や夜間の急病で対応に困ったときは、「#8000」をプッシュすると、看護師への電話相談ができます(必要に応じ医師がサポートする体制です)。

受付時間/毎日午後7時から翌朝8時まで ※プッシュ回線、携帯電話(主要携帯電話会社3社)からの利用が可能。それ以外は☎087-823-1588



赤ちゃんの急病に参考になるホームページ

医療ネット讃岐 <http://www.medinfo.ne.jp/kagawa/> こどもの救急 <http://kodomo-qq.jp/>



▲メモや写真をもとに、危険箇所や避難場所などを地図に書き込みます



▲完成した防災マップは「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」(日本損害保険協会主催)に応募します



**こども探検隊**  
丸亀市立  
城辰小学校

▲手本を見せてもらいながら、ロープの遠投に取り組み子どもたち

訓練を積み重ね、防災マップを作製

# 防災意識を高め

## 災害に備える

東日本大震災を教訓に、これまで以上に注目されている地域の防災力。「城辰小学校」では、川西地区自主防災会と連携し、2006年から6年生を対象に、防災学習を実施。地域ぐるみで防災に取り組んでいます。

### 近

い将来起こりうる南海トラフ地震などの自然災害時に役立つ、知識や技術を身に付けることなどを目的に始まった防災学習。地域ぐるみで防災活動に取り組むことで全国的にも知られている川西地区自主防災会の指導のもと、5年生の2月から始まり、1年かけて学びます。

い場所では、水のない側溝に伏せて両手で頭を守る」「自宅の中では風呂場の浴槽が安全」など、大人でもなかなか知り得ない説明を聞き、子どもたちからは驚きの声も。実際に浴槽に見立てた容器などに逃げ込む訓練もあり、素早い対応の大切さを身をもって体感しました。

5年生の2月、6年生の6、11月に行う防災学習では、災害時に役立つ訓練を中心にしています。昨年は土のうの作り方を学ぶ「土のう訓練」地図上で避難経路を確認する「避難図上訓練」「消火訓練」「ロープ遠投訓練」を実施しました。

ほかに、まきから火をおこしてご飯を炊く「炊き出し訓練」や、地元病院の協力のもと行う「トリアージ訓練」、防災ヘリコプターによる「搬送訓練」、AEDの使い方を学ぶ「AED訓練」など、そのときのニーズに合わせて、自主防災会と相談しながら内容を決めていきます。

中でも特徴的なのは、昨年初めて取り組んだ「竜巻発生に伴う避難訓練」。2012年5月に茨城県などで発生した竜巻被害を踏まえて取り入れたもので、「道路や田畑しかな

8月には地域ごとに10グループに分かれ、防災マップを作製します。自主防災会のメンバーと通学路の危険箇所を歩いて確認。倒壊の可能性のある古いブロック塀や水が溢れそうな水路をメモや写真に取り、模造紙に書き込んで完成させます。「私の身近なところにも危険がたくさんあった」「身の回りに危険があることが知れてよかった」などの感想が聞かれました。



▲土のう作りでは、防災会のメンバーが簡単にできてほけない結び方を伝授

「災害はいつ起こるか分かりません。いざというときに、自分の命は自分で守れるように経験を積んでおくことが大切。地域の人と顔見知りになる意義も大きいですね。将来的には、周囲の人も助けられるようになれば」と、木村博重教頭。自分たちだけでなく、家庭や地域にも意識を広めようと、「防災新聞」を1人1枚発行。これまでの学習をまとめたもので、学校内に掲示、持ち帰ることで家庭での生活の見直しや防災の取り組みのきっかけ、話題作りに一役買っています。

### 防災新聞を発行し 地域の防災力高める



B&G高松海洋クラブ

## ヨットを通してたくましい子に

県ヨット連盟のジュニア支部として活動するB&G高松海洋クラブ。ヨットを通して、たくましい子どもたちを育てようと2010年8月に結成されました。現在、小学3年から中学3年までの男女18人が所属し、毎週日曜の午前9時から午後3時まで練習しています(練習期間は3~12月)。

練習は安定性があり初心者に最適なオプティミスト(OP)、競技性が高いレーザー4.7、ホッパーなど、経験や目標に合わせてヨットを選択、海上に浮かべたブイを目指します。風向きや潮の流れを読んで目指す方向へ早く進むのは至難の業。それでも子どもたちは懸命にブイを目指します。クラブではすべて1人乗り。海に出れば自分ですべてを判断しなければならないので自主性や判断力、忍耐力が養えます。

メンバーの長岡叶子さん(勝賀中2年)は四

国選手権大会の成績から2015年8月に日本で行われる世界選手権への出場が決定。高いレベルを目指し技術を磨きたい人も、楽しさ重視の活動でも、どちらもフォローしてもらえるのがこのクラブの魅力です。

また、練習中は保護者有志が救助艇で沖に出ます。「コーチや保護者のサポートを理解しているから、子どもと大人の信頼関係を築きやすい。技術だけでなく、人間的な成長も見てほしい」とクラブ代表の小野澤秀典さん。月会費はOP4000円、それ以外は5000円。練習場所は高松市浜ノ町の高松市立ヨット競技場。4、5月には新クラブ員の募集、体験教室も開催。

問い合わせ

クラブ代表 小野澤秀典さん  
携帯090-2538-2433(=午前9時~午後10時)



▲風向きや潮の流れを読みながら船を操り沖のブイを目指します



▲コーチも海に出て、帆の操り方などを指導します

pick up

# 七夕特別企画! 星のお兄さんの爆笑! プラネタリウムショー

大爆笑しながら  
星座が好きになる!  
プラネタリウム界の有名人、  
星のお兄さんが  
やってくる!



▲星のお兄さん

時 7月6日(日)

- ①午後1時～
  - ②午後3時～
- (約1時間)

所数 さぬきこどもの国内スペースシアター  
各回200人、幼児は保護者同伴  
※各回1時間前からスペースシアター前  
にて整理券を配布

料 無料

●問い合わせ/さぬきこどもの国 ☎087(879)0500

# イベント

## 2014 3月～7月

■「こどもの日のこどものためのコンサート」  
時/5月5日(月・祝)午後2時開演(午後1時半開場)  
所/サンポートホール高松第2小ホール  
問/(公財)高松市文化芸術財団 ☎087(825)5010

■「テーマ展」讃岐国府を探る5」  
国府とは、およそ1300年前に奈良時代に地方を統治するために全国各地に設けられた役所、現在の県庁のような機関です。昨年度の調査では、約200年間続いた国府の中心施設の一部を確認し、讃岐国府の位置を明らかにすることができました。今回の展示では、主に昨年度の成果を出土品と写真パネルで紹介します。

■「親子自然体験教室」  
「磯の生き物にふれよう!」  
磯のカヤインギンチャク、貝、ヤドカリなどを探して観察します。  
時/7月5日(土)午前9時半～正午  
所/小原海岸 ※自然科学館で受付後、専用バスで小原海岸近くまで移動します。  
数/小学生とその保護者、家族50人程度  
料/1人50円(保険料)  
申/往復ハガキ(教室名、参加者氏名、年齢、住所、電話番号を記載)で左記へ 6月16日(月)～6月25日(水)受付(必着)  
問/五色台少年自然センター自然科学館  
坂出市王越町木沢190112  
☎0877(42)0034

時/5月8日(木)まで午前9時～午後5時(土・日・祝日は休館)  
所/埋蔵文化財センター第2展示室  
問/埋蔵文化財センター ☎0877(48)2191

■「親子自然体験教室」  
「干潟の生き物にふれよう!」  
干潟でカニや貝、ヤドカリなどを探して観察します。  
時/7月26日(土)午後1時～午後3時半  
所/木沢海岸※自然科学館で受付後、専用バスで木沢海岸近くまで移動します。  
数/小学生とその保護者、家族50人程度  
料/1人50円(保険料)  
申/往復ハガキ(教室名、参加者氏名、年齢、住所、電話番号を記載)で左記へ 7月7日(月)～7月16日(水)受付(必着)  
問/五色台少年自然センター自然科学館  
坂出市王越町木沢190112  
☎0877(42)0034

■「親子自然体験教室」  
「干潟の生き物にふれよう!」  
干潟でカニや貝、ヤドカリなどを探して観察します。  
時/7月26日(土)午後1時～午後3時半  
所/木沢海岸※自然科学館で受付後、専用バスで木沢海岸近くまで移動します。  
数/小学生とその保護者、家族50人程度  
料/1人50円(保険料)  
申/往復ハガキ(教室名、参加者氏名、年齢、住所、電話番号を記載)で左記へ 7月7日(月)～7月16日(水)受付(必着)  
問/五色台少年自然センター自然科学館  
坂出市王越町木沢190112  
☎0877(42)0034

確認ください。※5月23日発売  
問/(公財)高松市文化芸術財団 ☎087(825)5010

■「おはなし会」  
定期的におはなし会を行っています。  
時/第1、2水曜日、第2、4土曜日、第3土曜日(奇数月)、4月から(予定)第2水曜日、第2、4土曜日、第3土曜日(奇数月)、第4日曜日(4、6月)  
所/県立図書館  
問/県立図書館 ☎087(868)0567

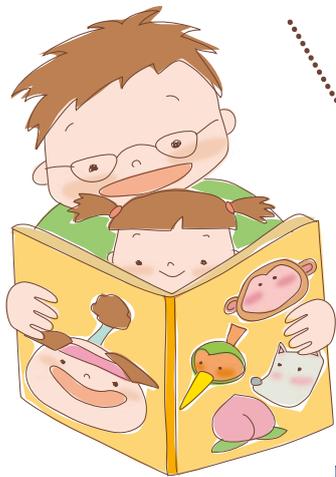
■「飛ばせ! 手作り紙ひこうき!!」  
香川紙飛行機を飛ばすオリジナルの高性能紙飛行機「カラス号」を作ろう!!  
時/3月21日(金・祝)受付午前10時～午後3時  
所/科学工房  
数/5歳以上の子ども先着150人(保護者同伴必須)  
料/無料  
協/香川紙飛行機を飛ばす会  
■「春をみつけれ! 国さんぽ」  
自然いっぱいのおここの国を散歩しながら、親子で春の植物や生き物を観察しよう。  
時/4月6日(日)①午前10時～午前10時45分 ②午後1時～午後1時45分 ③午後3時半～午後4時15分  
所/芝生広場に集合(のぼりが目印です)  
※雨天決行  
料/無料  
数/5歳以上の子どもとその家族、各回先着8家族  
講師/自然観察指導員 曾根康男氏

■「おやこで学ぼう! 交通・防犯!」  
新学期が始まり、車が行き交う場にデビューしていく子どもたちが多い季節、親子で楽しく交通安全や防犯について学びませんか?  
時/4月13日(日)午前10時半～午前11時半  
所/科学工房横芝生広場子ども劇場  
料/無料

■「開園記念企画」  
「こどもの国〇×クイズ」  
①「家族で挑戦!」  
②「墨で描こう!巨大!」  
水玉のいぼり」  
こどもの国にちなんだ〇×クイズに家族で挑戦! 何問正解できるかな? 館内では、劇場いぼりに広げた大きな和紙のこのぼりに、みんなでうろこを描きましょう!  
時/4月29日(火・祝)①午後1時～午後3時(各回約30分) ②受付午前10時～午後3時半  
所/①芝生広場 ②子ども劇場  
料/無料

■「児童館フェスティバル2014」  
県内の児童館が一堂に会するイベント!今年も楽しい遊びやワークショップがいっぱい!  
時/5月3日(土・祝)午前10時～午後4時  
所/子ども劇場芝生広場  
■「こどもフェスティバル2014」  
いろいろな遊びやワークショップが楽しめる、さぬきこどもの国恒例の大型イベント!  
時/5月5日(月・祝)午前10時～午後4時  
所/芝生広場  
※5月3日～5日は臨時駐車場があります。

# 新米パパの読み聞かせスタート支援アプリ!



## 読 み スタ タ

パパの読み聞かせを応援するアプリを県立坂出商業高等学校ビジネススキル部コンピュータ部門の生徒たちが開発しました。子どもの活字離れを防止し、読み聞かせが得意なパパ「読みメン」を増やそうという坂出市立大橋記念図書館の企画に合わせ、3年生3人と1年生3人が制作。GooglePlayから無料でダウンロードできます。読みスタで、目指せ読みメン!

読み聞かせは  
ココがするイメージが  
ありますが、  
このアプリを使って  
パパを挑戦  
してください!

動作環境:  
OS Android4.0以降



▲アプリを開発したプロジェクトチームの3年生

坂出市立大橋記念  
図書館だけのサービス

### スタート

図書館の貸出しやサービスの案内、最新情報などを表示。

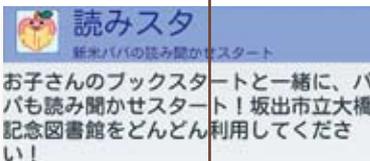
### りんごPoint

館内に設置されたQRコードを読み取ることによりりんごスタンプをゲット(1日1回)。12個集めれば、読み拍子が3つ追加されます。



### 読みlog

読んだ絵本のタイトルや子どもの反応、コメントなどを記録できます。ISBNコードを利用したタイトル入力の仕組みも実現。



### 読み拍子

タップすることで、紙芝居屋が使っていた拍子木や太鼓の音を出せる機能。楽しく、簡単にプロの雰囲気を出せ、子どもの反応も上々!

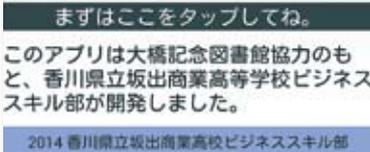
### 読みトレ

坂出を題材にした紙芝居「島本善四郎アメリカを見る」「大魚退治のものがたり」を使って、読み聞かせトレーニングができます。お手本の朗読音声を流すことも可能!



### ライブナビ

図書館の館内案内を表示。児童図書コーナーや読み聞かせ室の詳しい紹介もあります。





## 星空の話をゆっくり楽しむ

2 010年春にデジタルプラネタリウムを導入したことで、番組の自由度がアップ! 第2・4土曜日の午後3時40分から行う「なるほど! プラネタリウム」は、当日の星空紹介と、2カ月ごとにテーマを決めて解説員が30分の生解説を行うプログラムです。3月のテーマは「いのちの旅～星の一生～」、4、5月は「火星の行進曲(マーチ)」。3次元の星空を再現したり、宇宙空間を自由に移動できたりするので、迫力満点です。

## 小さい子どもも楽しめる

広々としたソファのような席と一緒に座れる家族席(8席)は、小さな子どもと一緒にでも安心です。キッズ向けプログラムで使われる「うどん脳」の作者・岡谷敏明さん作のキュートなオリジナル星座絵は、子どもを夢中にさせています。



# さぬきこどもの国 プラネタリウム

高松空港に隣接した大型児童館「さぬきこどもの国」で、遊具や4つの工房と並んで人気なのがプラネタリウム。この春から始まる新番組など、進化を続ける「スペースシアター」の魅力を紹介します!

2014年春スタート!  
新番組も登場

### 秘密結社鷹の爪 THE PLANETARIUM ～ムシムシ! 昆虫プラネット～



© 蛙男商会/DLE

NHKEテレでも放送された脱力系コメディアニメ「秘密結社鷹の爪」。世界征服をもくろむ鷹の爪団が昆虫サイズになって挑む、驚異の昆虫世界!

### 星の王子さま



©DLD ピクチャーズ

フランス人作家サン＝テグジュペリの不朽の名作『星の王子さま』のオリジナル全周番組。今も世界中で愛されている作品を美しく迫力のある最新CGで楽しめます。



みんなトクだね応援団

高松市香南町由佐3209 ☎087-879-0500 9:00～17:00 月曜定休(祝日の場合は翌日)※長期休暇中は無休  
プラネタリウム観覧料一般500円、高校生300円、中学生以下100円 3歳以下は無料  
上映スケジュールについてはホームページでご確認ください <http://www.sanuki.or.jp>

毎月19日の「かがわ育児の日」は「みんなトクだね応援団」の利用で、鑑賞料が無料に! 詳しくはQRコードよりホームページにアクセスしてください。



香川県小児科医会 岡本 尚子

子どもがぜんそくと診断されましたが、日常生活ではどのようなことに気をつけなければいいですか？



ぜんそくは子どもにもよくみられる呼吸器の慢性疾患です。アレルギー素因(ダニのふんや死骸、犬、猫のふけ、花粉などのアレルゲンに対してアレルギー反応を起こしやすい体質)を持つ子どもにも多いのですが、タバコの受動喫煙や大気汚染など環境の悪化も発病の原因の一つといわれています。

呼吸音が聞こえる(の発作を起こします。発作の回数が多いほど、気管支は傷つき症状が重くなっていくので、できるだけ発作を起こさないようにすることが大切です。

### 発作予防のため 医師の指示通り薬を

ぜんそくの治療薬は内服薬や吸入薬ですが、これらは毎日使うことで気管支の炎症をしずめ、発作を防ぎます。激しい咳や呼吸困難がおさまると、治ったと考えて薬を中断する人が多いですが、走った後に咳が出る、激しく笑ったり泣いたりしたときに咳き込むなどの症状がある間は、まだ発作が起こりやすい状態です。自己判断はせず、いつ薬をやめるかについては必ず医師と相談して決めてください。

### 発作を起こす 原因を排除する

ダニ対策として、床はじゅうたんではなくフローリングにして週2回以上掃除をしてください。布団は天日干しにし、掃除機をかけましょう。

タバコの煙は発作を誘発するので、家族全員の禁煙を徹底してください。黄砂や花粉の時期の外出にはマスクをかけましょう。

風邪などの呼吸器感染がきっかけで発作を起こすことが多いので、予防のため手洗いやうがいをしましょう。

スポーツは心肺機能を高めて、発作を起こしにくい体を作るために役立ちます。日常生活に積極的にスポーツを取り入れましょう。ただし、急に激しい運動をすると発作を起こすことがあるので、必ずウォーミングアップを事前に吸入や内服しておくのも効果があります。

治療の最終目標はもちろん完全に治すことですが、治療中でもぜんそくのない子どもと変わらない生活を送ることも大事です。最近では副作用も少なく、効果の高い薬がたくさん開発されています。ぜんそくだから咳が出るのは仕方がない、発作があっても薬は使いたくないなどと考えずに、薬と上手につきあつて一度とない子ども時代をのびのびと過こしましょう。



▲0歳から就学前までの子どもが仲良く交流しています



▲たくさんの絵本やおもちゃに興味津々の子どもたち



▲園内の地域子育て支援センター「きんか子育てふれあい教室」の利用者たち

**こども探検隊**  
**金花保育園**  
**坂出市**

# 育児中の孤立解消 子育て女性つなぐ

分らないことだらけの子育てを優しく支援

3年前、園庭付きの新しい園舎に変わった金花保育園。その歴史は古く、1948年の開設から仏教保育を基本に明るく心豊かな子どもたちを育てています。95年からは地域子育て支援センター「きんか子育てふれあい教室」の活動も盛んです。

**き**んか子育てふれあい教室を運営する金花保育園では、園舎

2階にプレールーム、授乳やおむつ交換のスペースを完備した専用教室を設置しています。ここを訪れるのは、幼稚園や保育所に通園していない就学前の子どもとその母親。月曜から金曜までの毎日午前9時から午後2時まで、園の保育士らが子育て支援を行っています。

## 遊びや交流の場提供 催しでリフレッシュ

教室には就学前の子どもに適した絵本や知育玩具などをそろえ、楽しい遊びの場を提供。普段は一对一で子どもをみている母親がリフレッシュできるようと、月に数回、小物づくりや本の読み聞かせなどのイベントも実施しています。

また、子育ての専門施設である強

みを生かし、子育てカウンセラーの資格を持つスタッフらによる育児相談も充実。「夜泣きがひどい」「遊ばせ方が分からない」など育児に関する悩みに的確な助言を与えています。

カウンセラーの綾長子さんは、「お母さんには、皆で楽しく話したり悩みを打ち明けながら、子育ての方法を習得してもらいたい。同時に、兄弟が多かった昔のように、子ども同士で自由に遊ぶなかで社会性を養ってほしいし、そんな支援をしたい」と言います。この日参加した

母親の一人は「家では息子と二人きりで、自分の子育てが正しいのか心配だったが、ここへ来ると心強い。子育てのプロがいてくれると安心」と話していました。

## ボランティアが協力 父親らの参加も歓迎

運営を支えているのは、保育園のスタッフだけではなくありません。支援センターを利用中の母親が英語教室を開いたり、地元の歯科医院によるアドバイス、坂出市の管理栄養士による食育指導、坂出子育てボランティア「夢・ゆめクラブ」による小物づくり教室等、多くのボランティアの協力を得ています。

「核家族が進み、初めての子を持つ母親は分からないことだらけで不安に陥りやすい。虐待につながるケースもある。ここへ来て母親も子どもも仲間を作り、子育てを楽しんでほしい」と秋山英正副園長は利用を呼びかけています。

開所時間は午前9時から午後2時（土日祝休館）。利用無料。毎日でも、月に数回でも、父親や、孫の世話をしている祖父母の利用も可能。問い合わせは同教室

☎0877-46-8747。



▲母親同士の情報交換も活発です

## こども探検隊

のぞみ幼稚園  
高松市



▲絵本の原画が飾られた図書室で、静かに絵本を読む園児たち

# 造形や音楽活動で 表現力を育てる

屋島の麓にある「のぞみ幼稚園」（園児数127人）は、1951年創立。子どもが持っている能力を認め、育てる教育方針のもと、自由な遊びを尊重しながら表現力をはぐくむ造形や音楽活動を積極的に取り入れています。

### 創

立から60年以上の歴史があり、卒園児の子どもや孫も多く入園しているというのぞみ幼稚園。「時代が変わっても、園の雰囲気は変わらない」と話す榎村文夫園長自身も、創立者である祖父から3代目にあたる園長です。

「子どもにとって良いのは、近所の幼稚園に通うこと」というのが榎村園長の方針。歩いて通える距離であれば親子で会話する時間が増えるだけでなく、保護者が園の様子を直接見ることができ、担任との会話が増え、子どもの成長にも良いといえます。地域の未入園児の親のため、園庭開放や親子体操教室も積極的にを行っています。

りと、伸び伸びと過ごしています。クラスでの活動は、絵を描いたり歌ったり、造形遊びをしたりといった表現活動が中心。特に「声はすばらしい楽器」という考えのもと、歌うことには力を入れています。園児も歌が大好きで、年長になるころには全員が歌いながら踊って表現する「オペレッタ」を演じられるようになるといいます。

園児は元気に登園した後、さっそく園庭へ。クラスでの活動までの自由時間は、好きな場所で思い思いの遊びができるよう長めに設けています。砂場でどろんこになって遊んだり、絵本を読んだり、縄跳びをした

表現活動において、先生の役割はヒントを与えること。自由に活動しながら一緒に歌ったり、一緒に折り紙をしたりと、園児に寄り添うことで表現力を引き出します。「教え込むのではなく、それぞれの子どもたちが持つ能力を育てることが大切」と榎村園長。五感を使った活動を積極的にを行い、豊かな感性と知性を育てています。



▶海の砂を入れた砂場で、どろんこになって遊ぶ園児たち。貝殻が見つかることもあります



▶お絵描きの時間。真剣なまなざしでイーゼルに向かいます